

今日の説教のポイント<創世記 17 章 1～14 節>

①アブラハムは私たちの父。そのことが持つ恵みの意味。

「あなたを多くの国民の父とする」(5)。アブラハムに言われた神様の言葉です。私たちはアブラハムと関係ないのではなく、関係あるのです！ 神様がこう言われたのですから！ だから、これから千年以上後のパウロも、「アブラハムと同じ信仰に生きる人が彼の子」「彼は私たちすべての父」(ガラテヤ 3:7、ローマ 4:16)と語っているのです。彼らと同じ神様を信じる時、私たちは新しい一族の一員なのです！

②「契約」というよりは、神様の一方的な恵みの「約束」！

神様が、①のような「契約」を結ぶ、と言われました。しかし、「契約」は契約を交わす双方で守ることを誓い合うものですが、これは神様の方から一方的に人間に宣言して下さったものですから、「契約」というより神様の一方的な「約束」ですね。しかも、それは、この約束を信じる人みんながアブラハムを父とする一族に入れてもらえるという、神様の一方的な「恵みの」約束です！ すごい恵みですね！

③「割礼」とは？ 今の私たちの「洗礼」に通じるものがある！

では、なぜ「約束」と言わず「契約」と言われるのでしょうか？ 話を整理すると、まず神様が恵みの約束を告げて下さいました。今度は私たちがそれを信頼してお応えする番です。ここで神様が「割礼を受けなければならない」(10～14)と命じられたことが関係してきます。

「割礼」は、神様の「約束」を信頼してそれを受け入れる「契約」に加わることを、今度は私たち人間の側が示す行為です。恵みを一方的に与えて下さった神様が求められている、そのことを知ってどうして断るでしょうか？ 「自分は受けたくないから」でいいでしょうか？ そんなはずはないですね。それに、イスラエルの人たちは、受けた割礼を見るたびに、「どんな時もこの神様がいて下さる！」と思えたのです。割礼を受けた彼ら自身が、それによってまた恵みを受けたのです！ 今の私たちが受ける「洗礼」と同じですね！